

質問事項		記述式回答
来年秋を見据えて、現在の景気の基調		
1	9月16日の経済財政諮問会議において、2015年秋を見据えて、現在の景気の基調を見る際、以下の5項目について今後注視すべきとされました。これらを参考に、現在の景気の基調や考慮すべきリスクをどうご覧になっているか、また、とるべき対応があれば、合わせて300字以内でご記入ください。 ① 消費の安定的増加、それを支える雇用者数・賃金の伸び(正規比率の上昇を含め)や消費マインド ② 企業収益の動向、民間設備投資の強さ(設備投資計画の動向も含む) ③ 輸出入の動向、交易条件の動向 ④ 物価動向(一時的要因を除いた実勢と期待物価) ⑤ マーケット(株価、為替、金利等)の動向	景気が良くなっている実感はなく、生活に明るいイメージもない状態で、政府の景気対策は、過去の政策、大企業に向けた政策に寄ったものに見えます。経済指標に則って王道の対策を進めることを否定しませんが、それに加えて、新しい経済のあり方を作り出すような、全国の中小企業が活性化する政策をとらなければ、今後の日本の景気は上向かない。つまり、日本経済の強さを発揮できないと思います。
地方創生・地域活性化		
2	地方創生・地域活性化に向けて、重点的に取り組むべき課題及び対応策につき、ご自身(自社)の知見・経験も踏まえてお考えを300字以内でご記入下さい。その際、地方が抱える課題の背景についても、併せてご記入下さい。	地方都市の活性化は丁寧に考える必要があると思います。都心が考える「活性」が、現在地方にいる人たちが考える「活性」なのか。都心と同じ「にぎわい」が、地方に必要な「にぎわい」なのか。例えば2020年オリンピックの際、海外からの観光客が全国各地を旅することができ、それぞれの地域の違い、良さを味わうことができたなら、その「おもてなし」の力は各地域の活性化の源泉となるかもしれません。子育て世代を増やしたいと思っても、自然環境だけでなく、保育や教育環境も整っていなければ、長期的な移住は難しいでしょう。学校を誘致し育てることも、地域活性化につながると思います。間違っても「活性化」が全国統一になりませんように。
その他		
3	10月下旬の為替相場は107円台付近で推移しています。最近の為替相場の動向やその景気への影響について、ご見解があれば300字以内でご記入ください。	11月5日には、すでに114.30円。あまりに急激な円安です。輸出型の大企業には良い影響でも、ここまでの急変は健全な経営につながらないと思います。また、輸入の大きな企業には急激な打撃です。また個人的には、あまりの円安で、海外旅行も、留学も、費用負担が突然大きくなり、これでは日本国民のグローバル化は縁遠くなってしまうと懸念しています。